

# 俳句甲子園メール

2016年啓蟄号

No.009

NPO法人 俳句甲子園実行委員会 (E-mail:info@haikukoushien.com)

〒790-0814 愛媛県松山市味酒町1丁目10-2

TEL:089-943-1512(平日13:00~17:00) FAX:089-948-4819

松山市役所 文化・ことば課 (E-mail:bunkakotoba@city.matsuyama.ehime.jp)

〒790-8571 愛媛県松山市二番町四丁目7番地2

TEL:089-948-6952(平日8:30~17:15) FAX:089-934-1287

桜は夏から秋の間に花芽を作り、厳しい寒さが花芽を目覚めさせ、気温の上昇と共に生長し開花するそうです。冬の寒さも大事な条件の一つであることに命あるものの強さを感じます。来月に迫った兼題発表にむけて高校生達の多くの花々の開花が待ち遠しいですね。

# 十七音の夢

## 未来へ向かって

第18回大会に出場した岐阜県立大垣商業高等学校の富田隆一さんが、大会出場の思い出とこれからの夢を語ってくれました。

### 二度目の挑戦で

#### 地方大会優勝

「俳句甲子園というのを大垣で開催しようとしてるんだけど、参加してみませんか？」一年生の秋頃、授業で先生から俳句甲子園の紹介をされた。もともと文章を書くことが好きだった私は、すぐに出てみたいと思った。それがきっかけだった。最初は俳句の基礎から学んでいき、練習を重ねることで、二度目の挑戦でついに地方大会で優勝し、全国大会出場の切符

を手にした。

全国大会での結果は予選リーグ敗退だったが、たくさん学べたこともあった。フェアウェルパーティーが終わった後、優勝、準優勝校である名古屋高校・旭川東高校との句会に誘われた。その句会に参加したことで、季語の生かし方や言葉の選択、意外性のある比喩表現といった知識や技術の他にも、生徒同士が交流することでしかできない経験をすることができた。このように大会が終わった後も充実し

た体験をすることができた。

### 入試で力を発揮

#### 面接では俳句も披露

学校では夏休みが終わり、三年生は受験モードに入った。私の志望する大学の試験内容は、小論文と面接だった。ここでは、俳句甲子園を目指す中で身に付けた知識と経験を生かすことができた。小論文では読解力と表現力を、面接では質問に対して瞬時に答える力を生かすことができた。また、偶然面接官

の方が俳句甲子園を知っており、どの様な俳句を作ったか聞かれた。俳句甲子園で提出した「朝顔や今日は今日しか生きられぬ」を披露すると、面接官は声を上げて感心してくれた。結果は合格だった。そこで改めて、俳句甲子園に取り組んできたことが、自分の人生にとって大きかったのだと感じた。

### 後輩に俳句の

#### 楽しさを伝えたい

これからは、まだ俳句を始めたばかりの後輩たちに、俳句の楽しさを伝えていきたいと思う。そして将来、地元で俳句を推進する担い手になりたいと考えている。たった十七音に詰め込んだ夢は、今も大きくなりながら未来へ向かっている。

## 俳句ポスト365

## インターネットで俳句を投稿

隔週で兼題が発表されます。pc、スマホ、携帯から自分ならではの一句を気軽に投稿しましょう。

選者は俳人の夏井いつき氏。「天」1句、「地」約10句、その他に「人」「並」の優秀作を選び一部コメント付きで発表します。<http://haikutown.jp/post/>



よしあき君

(松山城マスコットキャラクター)

一期一会の一句を待っております。